

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	150	仮称富久公園の整備					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	04	うるおいのあるみどりのまちづくり					
施策	02	公園、広場などの整備充実					
事業内容							
目的	<p>当該周辺地域には公園が少なく、さらに環状4号線事業用地として借用していた西富久児童遊園、余丁町児童遊園を返還することとなるため、公園を取得し整備するものです。</p> <p>さらに、まちづくりの視点からこの地区における避難場所としての機能など防災性を強化することで、良好な住環境整備が図れます。</p>						
対象・手段	<p>西富久地区市街地再開発事業エリアを含んだ地区計画に基づき、主に再開発事業による低層部の広場と公園を空間で連携する構成として整備します。国家公務員宿舍の敷地を、公園用地として、新宿区土地開発公社が先行取得。この買戻しを平成19年度行いました。また残地を国から無償使用承諾をとります。用地買収、設計委託及び整備工事費の一部をまちづくり交付金の対象として公園整備を行ってまいります。</p>						
成果(事業が意図する成果)							
<p>安心・安全の街づくりの視点から、まとまりのある整形な公園を整備し、この地域の災害時の避難広場とするなど、防災機能を持たせることで住環境改善に寄与します。</p> <p>環状4号線道路予定地を借用して開園している西富久児童遊園及び余丁町児童遊園に代わり、地域の防災性の向上に配慮された公園が整備されます。</p>							
事業成果指標							
指標名	定義		目標水準				
公園用地の確保	<ul style="list-style-type: none"> 区公社が国(財務省)から用地買収 50% 区が区公社から用地買収 50% 		(平成19)	年度に			
			(100%)	の水準達成			
公園の整備	<ul style="list-style-type: none"> 旧公務員宿舍解体 10%(19年度) 公園設計 40%(19年度) 公園整備工事 50%(20年度) 	(平成20)	年度に				
		(100%)	の水準達成				
		()	年度に				
		()	の水準達成				
成果の達成状況							
	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備考	
事業成果指標	目標値1		0.00	0.00	50.00	100.00	平成18年度は、新宿区土地開発公社が用地買収を行い、平成19年度、区が公社から買戻し、公園用地を確保。並行して公園の設計を行いました。20年度に公園の整備工事を行います。
	実績1		0.00	0.00	50.00	100.00	
	= /	%	0.00	0.00	100.00	100.00	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	50.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	50.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	100.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成18年度	仮称富久公園の公園予定地である公務員宿舍全敷地(4550㎡)の2/3(3033㎡)を国から新宿区土地開発公社が買収しました。						
平成19年度	新宿区土地開発公社が買収した土地(約3033㎡)を新宿区で買収し、残りの土地(約1516㎡)を国と無償貸付契約を結び、公園用地を確保しました。既存公務員宿舍建物の解体工事及び公園実施設計を行いました。						

部名称		みどり土木部		課名称		みどり公園課	
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	0	0	0	1,928,144	
	人件費	千円	0	0	0	8,260	
	事務費	千円	0	0	0	13	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	0	0	0	1,936,417	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	0	0	0	1,936,417	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	0	0	1,185,417	
	特定財源		0	0	0	751,000	
	一般財源投入率 /	%	0.00	0.00	0.00	61.22	
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.00	1.00	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>公園に対する愛着が高まり、区民が完成後の公園の管理・運営に参加することによって、地域住民が誇れる公園を実現することが必要です。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	当初計画どおり公園用地を取得するとともに、既存建物の解体及び公園実施設計を完了しました。				
	実施の成果	3	公園の少ない地域に、公園が確保でき、災害時の安全性が確保されるようになります。				
	効率性	3	全敷地の1/3は国有地を無償で借り受けています。また、用地買収及び公園整備には、国庫補助金を充当しており、効率的に実施しています。				
	行政の関与	3	地域の防災性向上のための公園整備は、行政が行っていくことが必要です。なお、より良い公園整備を行うため住民参加の下、整備計画を策定しました。				
	妥当性	3	公園不足の解消、防災性向上の両面から目標設定は適切です。				
	施策寄与度	3	公園用地を確保し公園を整備することにより、防災性の向上と公園不足地域の解消が図られました。				
総合評価	<p>19年度の評価はBとします。19年度は、予定通り土地を取得し、地域住民と協働で、実施設計を完了したからです。 設計に当っては、ワークショップを開催し、地域住民のニーズを取り入れ、災害用トイレ、耐震性防火貯水槽、消防訓練用ウォール等の防災機能を備えるとともに、公園中央には芝生広場を設け、地域の賑わいの中心となる公園計画が出来ました。また、ワークショップを通じて、公園に対する関心が高まり、開園後、サポーターとして公園管理に関わっていきこうという機運も高まっています。</p>						B
							過年度評価 18年度 17年度 16年度 15年度
改革方針	<p>引き続き、第一次実行計画「43（仮称）富久公園の整備」で取り組んでいきます。公園整備に当たって、さらに、地域住民から意見を求めると共に、現在平行してワークショップ参加者による公園サポーター設立の準備を進めており、完成後は公園の管理・運営を区民と協働していく予定です。</p>						方向性 1 現状のまま継続